上毛新聞　2014 年 3 月 30 日掲載

史のロマン満ちる

トヨペット車でふれあい巡り　ぐんまふるさと心紀行

西上州高崎市吉井町編　古代史のロマン満ちる吉井

いよいよ、この紀行の終点、吉井町へやってきた。ここにはあの有名な多胡碑があり、くりしも藤岡の古墳巡りから始まった今回の旅が不思議な円環を描き、古代史のロマンを秘めた記念碑へ導かれたという感がある。

（中略）

さて、貴重な土産品を手に、次は恒例となった在地の寺社・城址巡りへ向かう。まずは室町期に創建された曹洞宗の天祐山仁叟寺へ。長根城主の小幡長根家や宮崎城主の奥平家をはじめとする領主に庇護された、徳川家光公の代には寺領及び御朱印二十五石を賜ったという由緒ある禅寺だ。江戸時代特有の武家様の面影を残す山門や瓦葺き入母屋造り平入の本堂は壮観である。

（以下略）